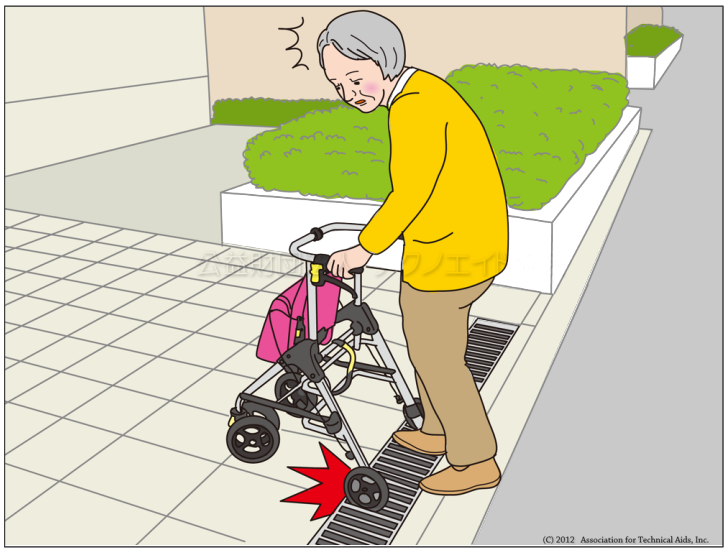
Case：64

側溝の蓋にキャスタが入り、身動きが取れなくなる

場面の説明

歩行車で側溝の蓋の上を通過した際に、後輪キャスタがはまってしまった



利用シーン	移動 外出
主な利用場所	段差・縁石
介護保険の種目	歩行器
分類コード (CCTA95)	120606 (歩行車)
介護テクノロジー	ー
二次元バーコード	

解説

街で歩行車を利用する際には、段差や溝など様々な障害に注意して操作する必要があります。安全に使用するには、そのような障害に注意を払い、的確な判断をしながら進行することができる能力が必要で、用具を提供し操作の説明をする人はその点の確認も求められています。

参考要因（要因の例であり、これだけが正解ということではありません）

人：このくらいの隙間であれば問題ないと思ってしまった
人：提供者からの注意喚起が欠けていた
モノ：キャスタが側溝の蓋に入ってしまう幅だった

作成：公益財団法人テクノエイド協会
Copyright 2025 Association for Technical Aids, Inc. All Rights reserved.

福祉用具ヒヤリハット　研修教材（受講者用）

日付：	所属：	氏名：

Case：64

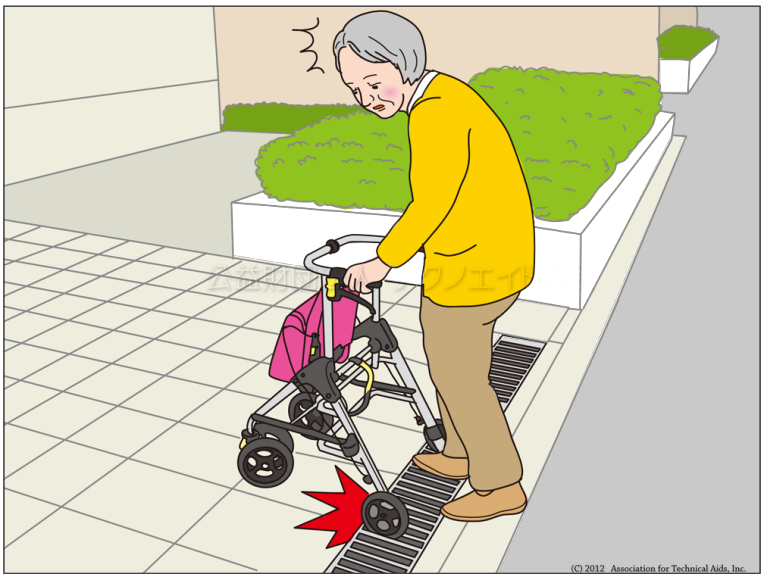
側溝の蓋にキャスタが入り、身動きが取れなくなる

事例詳細

回答前に見ないこと

場面の説明

歩行車で側溝の蓋の上を通過した際に、後輪キャスタがはまってしまった



どのような要因が考えられますか？	どのような対策が必要でしょうか？
人（本人・介護者・関係者）の要因	
モノ（福祉用具）の要因	
環境の要因	
管理の要因	

メモ

作成：公益財団法人テクノエイド協会

Copyright 2025 Association for Technical Aids, Inc. All Rights reserved.